

令和6年度 栃木県こどもモニター
第1回アンケート結果
(小学生)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第1回アンケート期間

令和6年7月9日（火曜日）から8月5日（月曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

395名

5. 第1回アンケート回答者数

357名

6. 第1回アンケート回答率

90.4%

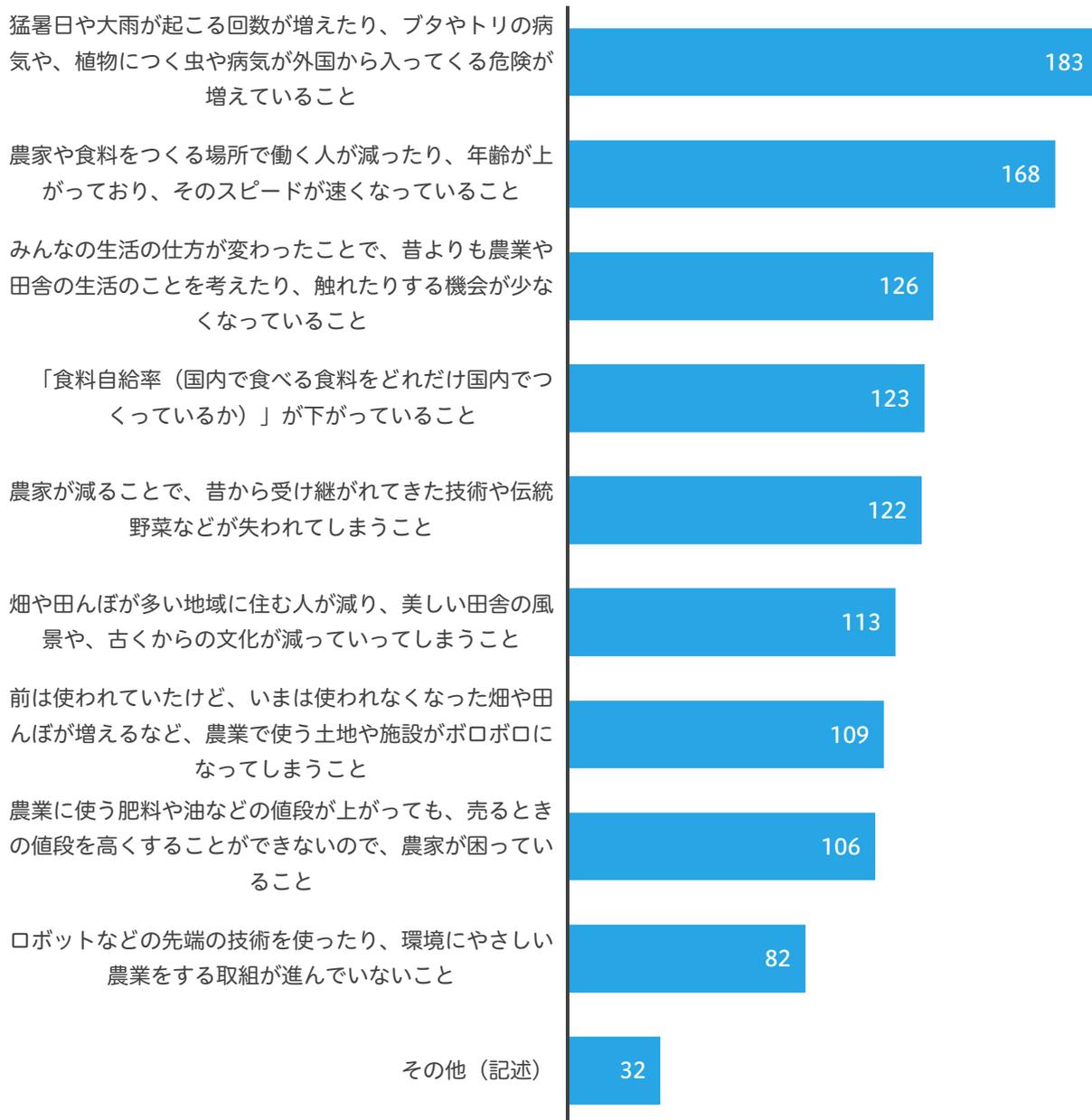
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	回答割合	回答率
男子	185	170	47.6%	91.9%
女子	208	185	51.8%	88.9%
答えたくない	2	2	0.6%	100.0%
合計	395	357	-	90.4%

学年	アンケート 対象者	回答人数	回答割合	回答率
小学1年生	65	60	16.8%	92.3%
小学2年生	73	64	17.9%	87.7%
小学3年生	67	60	16.8%	89.6%
小学4年生	75	69	19.3%	92.0%
小学5年生	67	60	16.8%	89.6%
小学6年生	48	44	12.3%	91.7%
合計	395	357	-	90.4%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が100%にならないものがあります。

Q1.「いまの農業を取りまく課題」のなかで、知っているものは次のうちどれですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

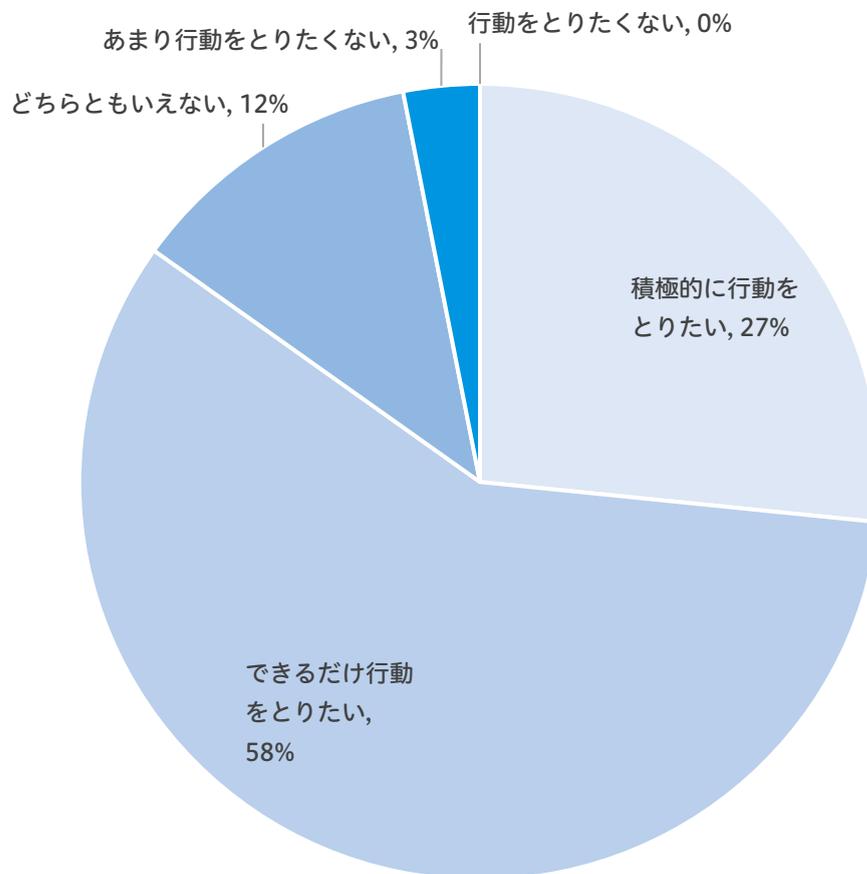
「猛暑日や大雨が起こる回数が増えたり、ブタやトリの病気や、植物につく虫や病気が外国から入ってくる危険が増えていること」（183件）が最も多く、以下、「農家や食料をつくる場所で働く人が減ったり、年齢が上がっており、そのスピードが速くなっていること」（168件）、「みんなの生活の仕方が変わったことで、昔よりも農業や田舎の生活のことを考えたり、触れたりする機会が少なくなっていること」（126件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ わかいひとが、のうぎょうをしなくなってこまっています。

- 野菜を残す人が多いこと
- 最近は天気が安定しないので、野菜の成長具合が規格外のものばかりななり、出荷が安定しない。
- ロボットを使った取り組みが進んでいないという選択肢があったけど、私は逆に先端技術が進んでいると思っていました。
- お父さんが仕事で農家によく行きます。お米が高くなっちゃうといっていました。
- 地産地消を進めなければならない
- スーパーなどの小売店に、余分な量を売ってしまい、食品ロスになってしまう問題。
- たんぼだったところが、家になったり、太陽光パネルになったりして、米を作らなくなっている
- わからない、知らない、りかいけない など 23件

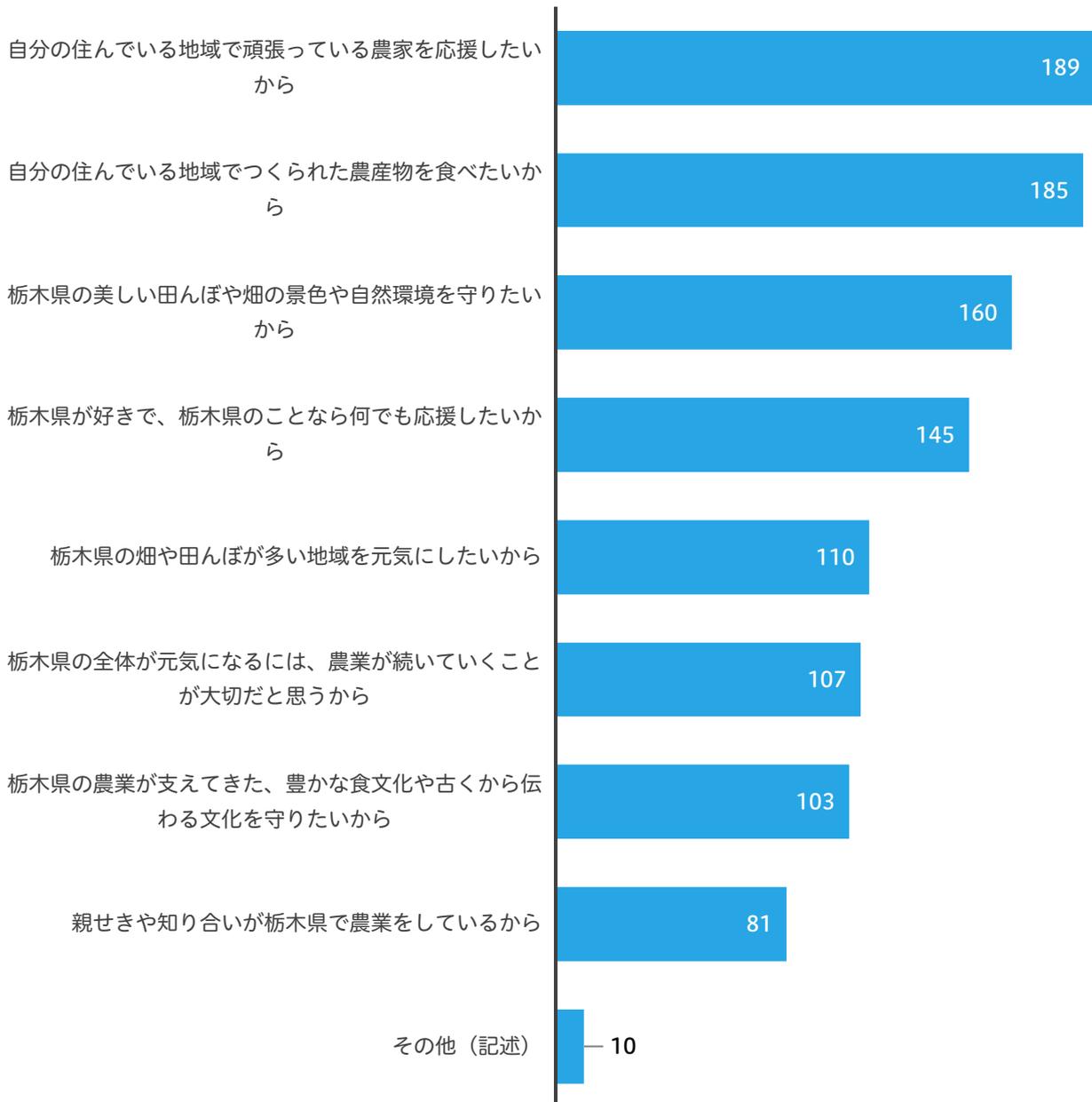
Q2.あなたは「自分も栃木県の農業を応援する行動をとりたい」と思いますか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「できるだけ行動をとりたい」(58%)が最も多く、「積極的に行動をとりたい」(27%)が続いており、行動をとりたいと考えているひとは、80%を超えている。

**Q3. 「Q2」で「積極的に行動をとりたい」「できるだけ行動をとりたい」を選んだ方にお聞きします。そう思った理由を教えてください。
【いくつでも選んでください】**



【調査結果の概要】

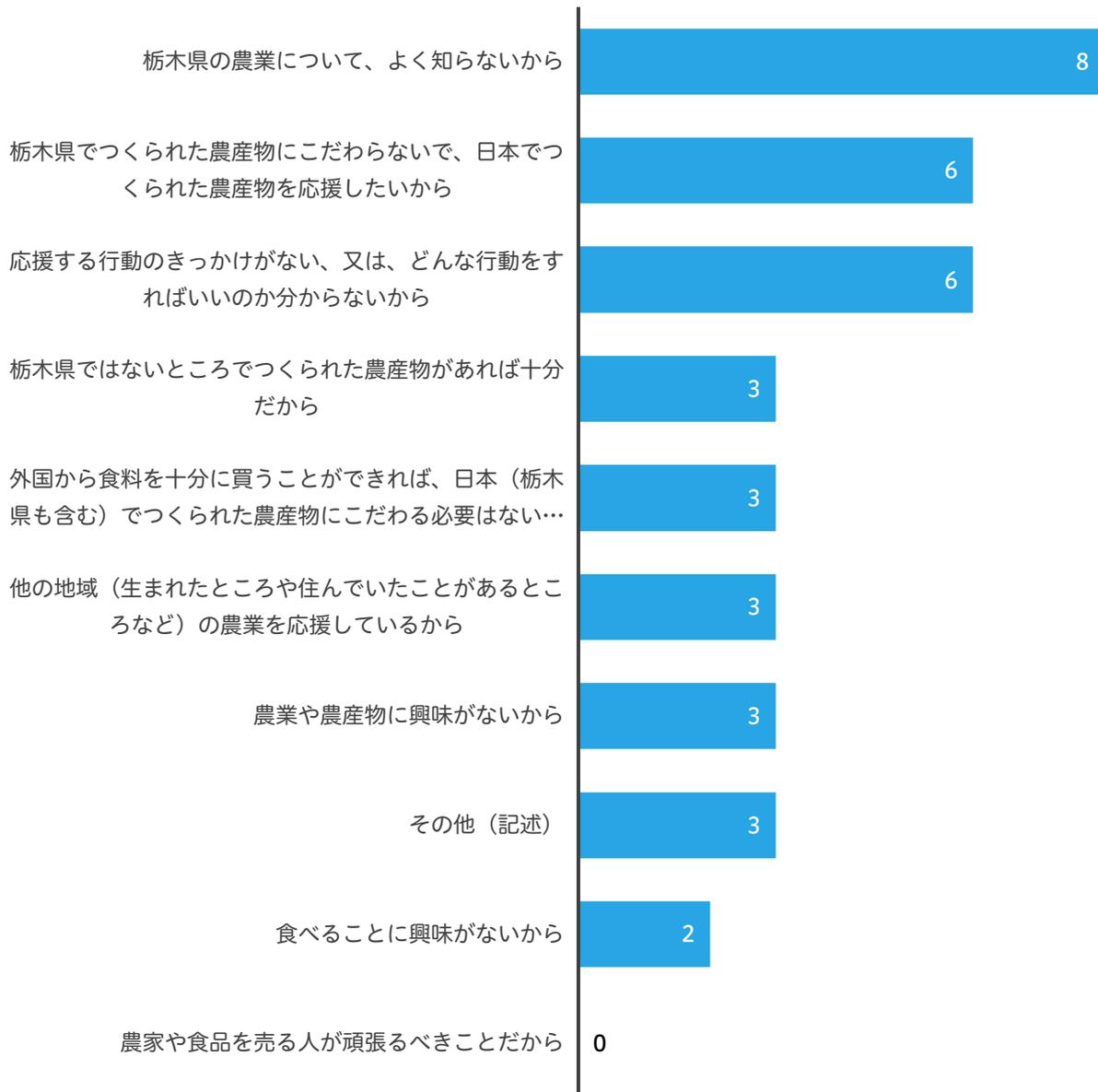
「自分の住んでいる地域で頑張っている農家を応援したいから」（189件）が最も多く、以下、「自分の住んでいる地域でつくられた農産物を食べたいから」（185件）、「栃木県の美しい田んぼや畑の景色や自然環境を守りたいから」（160件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ もてぎのきれいなしぜんややまを、みんなにみてもらいたい。です。
- ・ もっとお米のお金を安くして、みんなが美味しく食べられるご飯になって欲しい

- 身近な場所で、畑や田んぼがあり、作っている人がいるから。
- 自分が体験した、また勉強したことを応援したいから。また、売る人、作る人ががんばっているから
- 地球の環境を守りたいから。
- 命のために、農産物が必要と思うから
- 食べ物がなくなったら大変だから
- 自分やみんなのために協力したい
- 栃木県の農作物を他の国の人にも食べて欲しいから
- 栃木のイチゴや野菜がおいしいから
- 栃木県の良さを他県にも広めたいから。

Q4. 「Q2」で「あまり行動をとりたくない」「行動をとりたくない」を選んだ方にお聞きします。そう思った理由を教えてください。【いくつか選んでください】



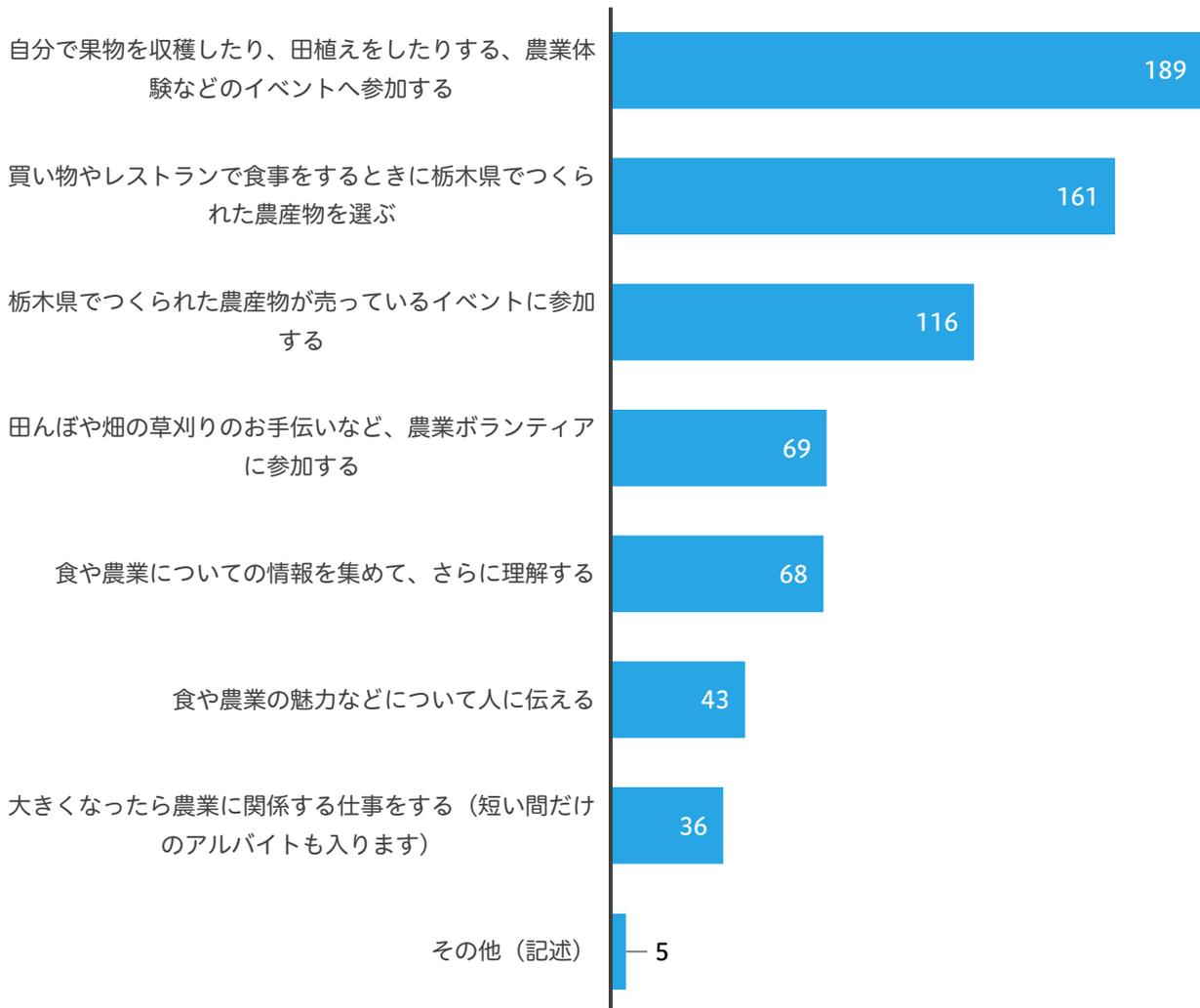
【調査結果の概要】

「栃木県の農業について、よく知らないから」（8件）が最も多く、以下、「栃木県でつくられた農産物にこだわらないで、日本でつくられた農産物を応援したいから」（6件）、「応援する行動のきっかけがない、又は、どんな行動をすればいいのか分からないから」（6件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 「行動をとりたくない」というのも嫌だけど、行動をとるのも大変だから。あまり興味がないから。
- ・ 大変そう
- ・ サッカーがすきだから

Q5. 「Q2」で「積極的に行動をとりたい」「できるだけ行動をとりたい」を選んだ方にお聞きします。こういった行動で応援したいと考えていますか。【3つまで選んでください】



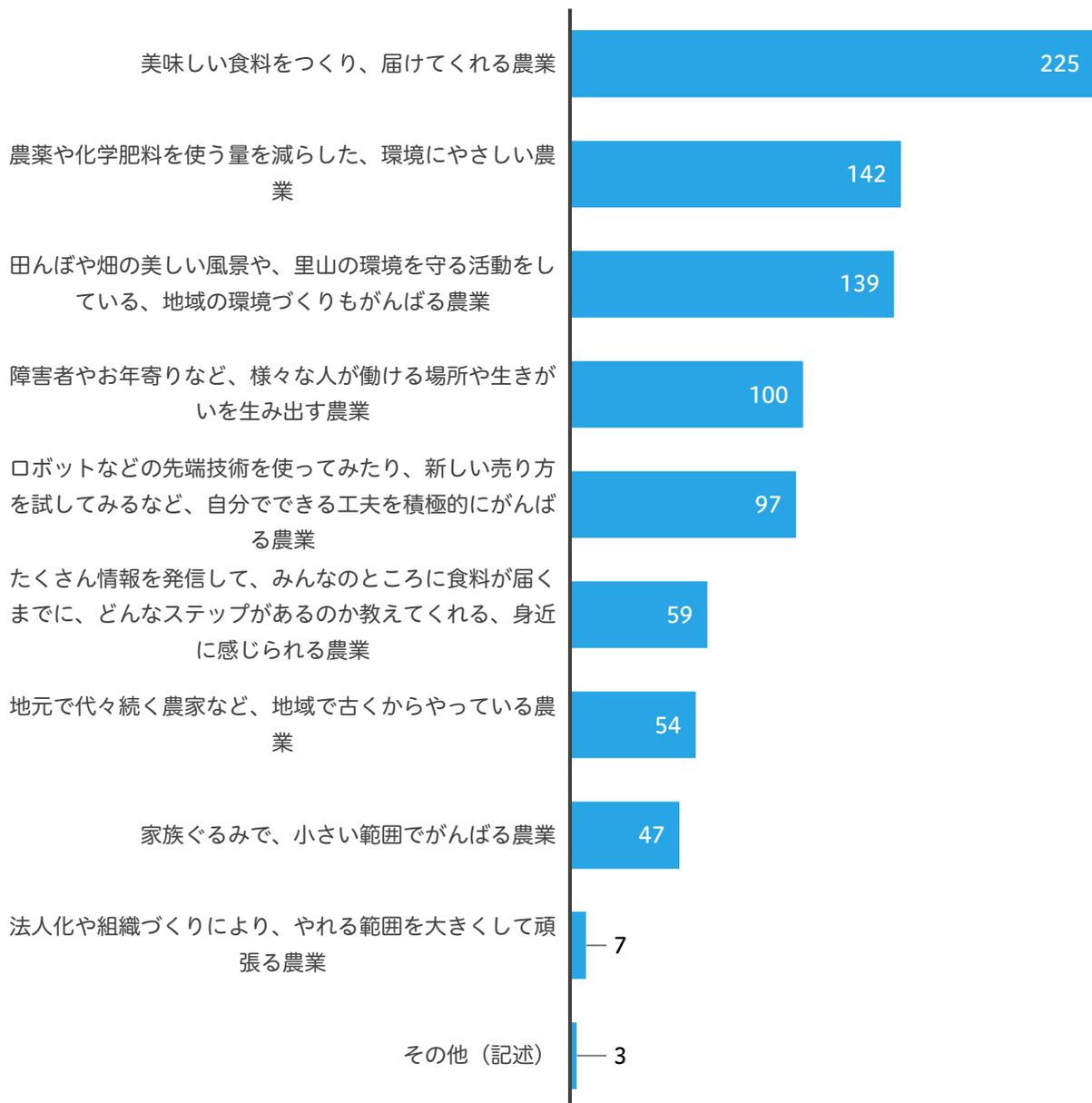
【調査結果の概要】

「自分で果物を収穫したり、田植えをしたりする、農業体験などのイベントへ参加する」（189件）が最も多く、以下、「買い物やレストランで食事をするときに栃木県でつくられた農産物を選ぶ」（161件）、「栃木県でつくられた農産物が売っているイベントに参加する」（116件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 残さず食べる
- ・ 特になし
- ・ 祖父母がニラ農家なので、その手伝いをする
- ・ 地産地消
- ・ 自分が、野菜などを沢山美味しそうに食べて友達にも好きになってもらう。
- ・ クラウドファンディングやボランティアをして、資金を集め困っている農家さんに贈る。

Q6.あなたが応援したいと思う農業は、どんな農業ですか。【3つまで選んでください】



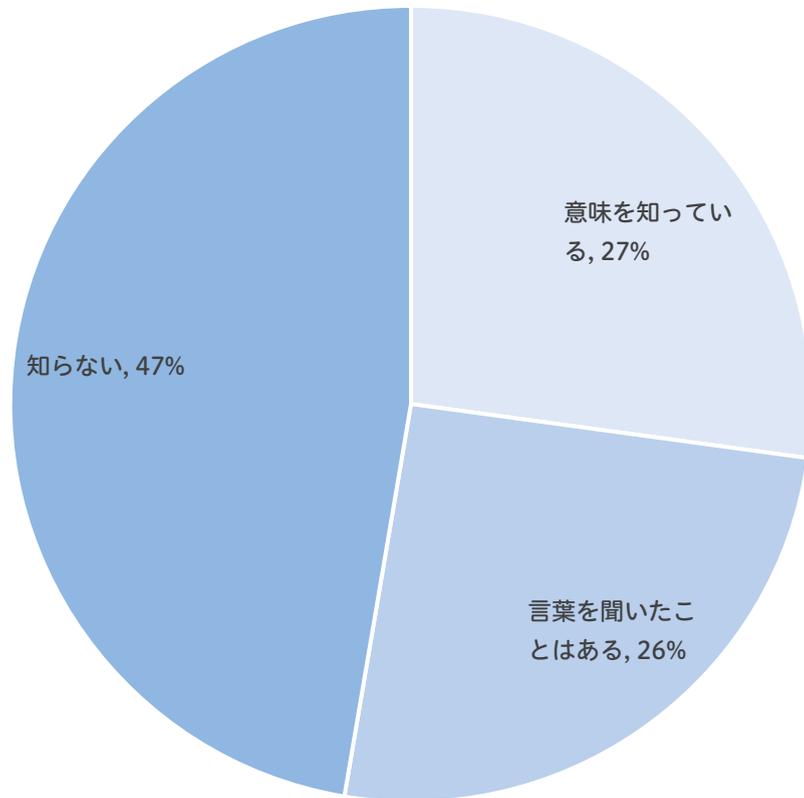
【調査結果の概要】

「美味しい食料をつくり、届けてくれる農業」（225件）が最も多く、以下、「農薬や化学肥料を使う量を減らした、環境にやさしい農業」（142件）、「田んぼや畑の美しい風景や、里山の環境を守る活動をしている、地域の環境づくりもがんばる農業」（139件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ とうもろこし、小麦、茶畑
- ・ お母さんが野菜が高いと言っていたので、高くない野菜を作ってくれる人を応援したいです。
- ・ 小麦をたくさんつくってほしい小麦がへってるから

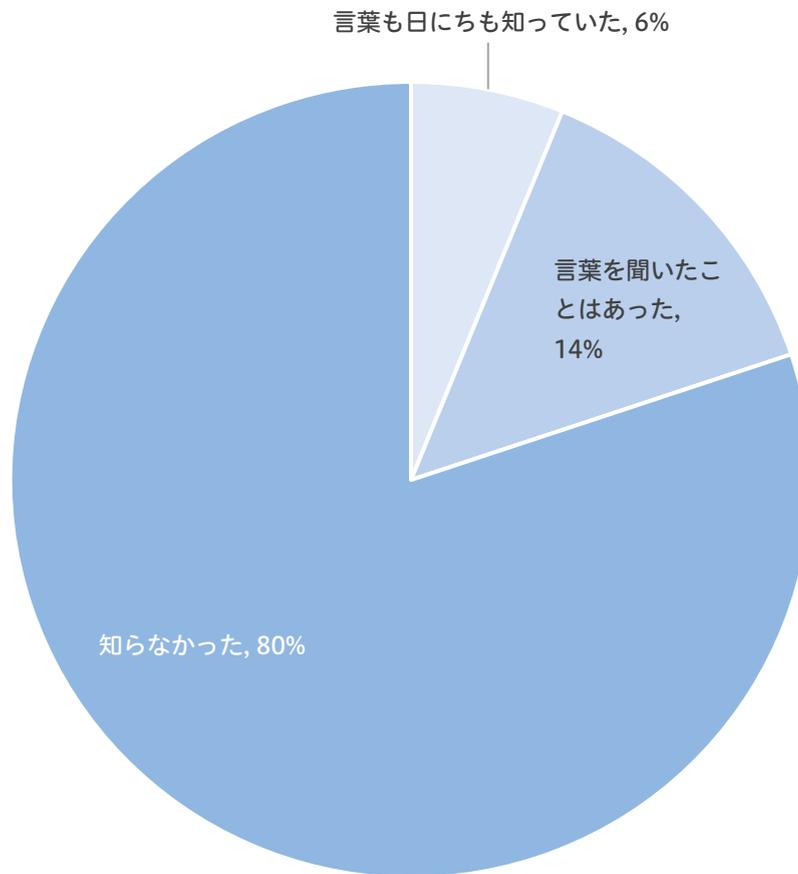
Q7.「地産地消」という言葉の意味を知っていますか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「知らない」(47%)が最も多く、以下、「意味を知っている」(27%)、「言葉を聞いたことはある」(26%)と続いている。

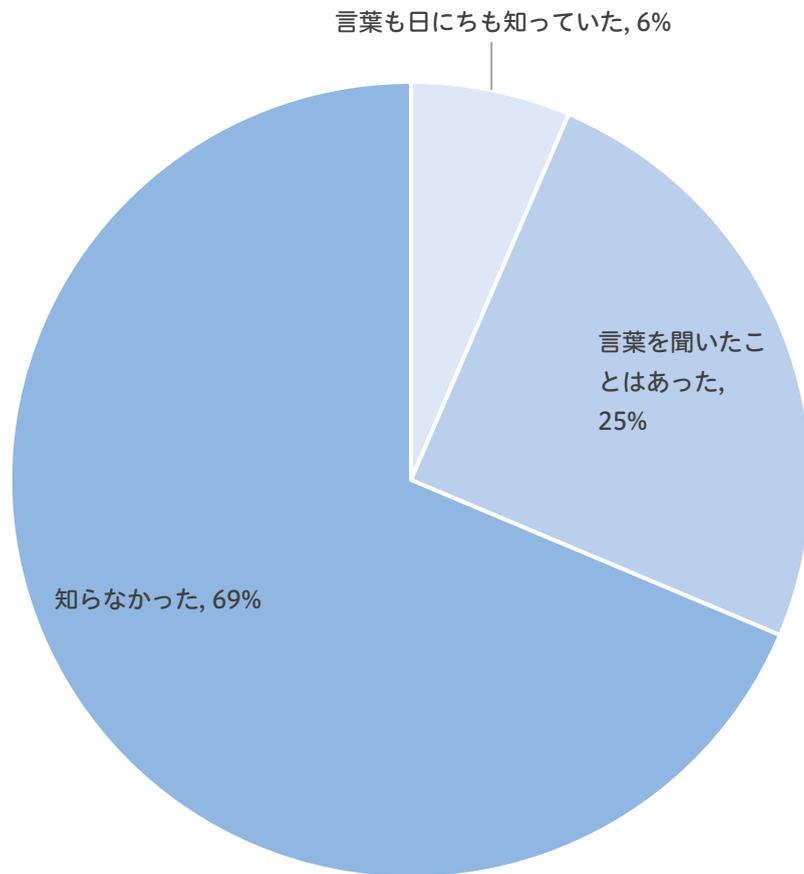
Q8.栃木県は、毎月18日を「とちぎ地産地消の日」としています。そのことを知っていましたか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「知らなかった」(80%)が最も多く、以下、「言葉を聞いたことはあった」(14%)、「言葉も日にちも知っていた」(6%)と続いている。

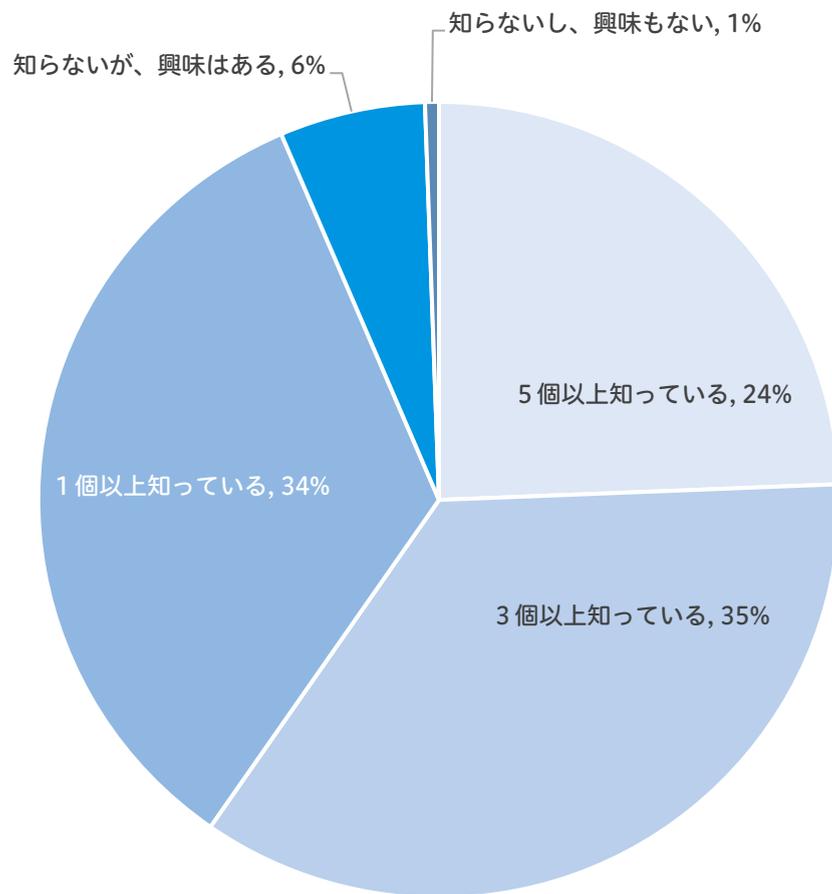
Q9.内閣府は、毎月19日を「食育の日」としています。そのことを知っていましたか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「知らなかった」(69%)が最も多く、以下、「言葉を聞いたことはあった」(25%)、「言葉も日にちも知っていた」(6%)と続いている。

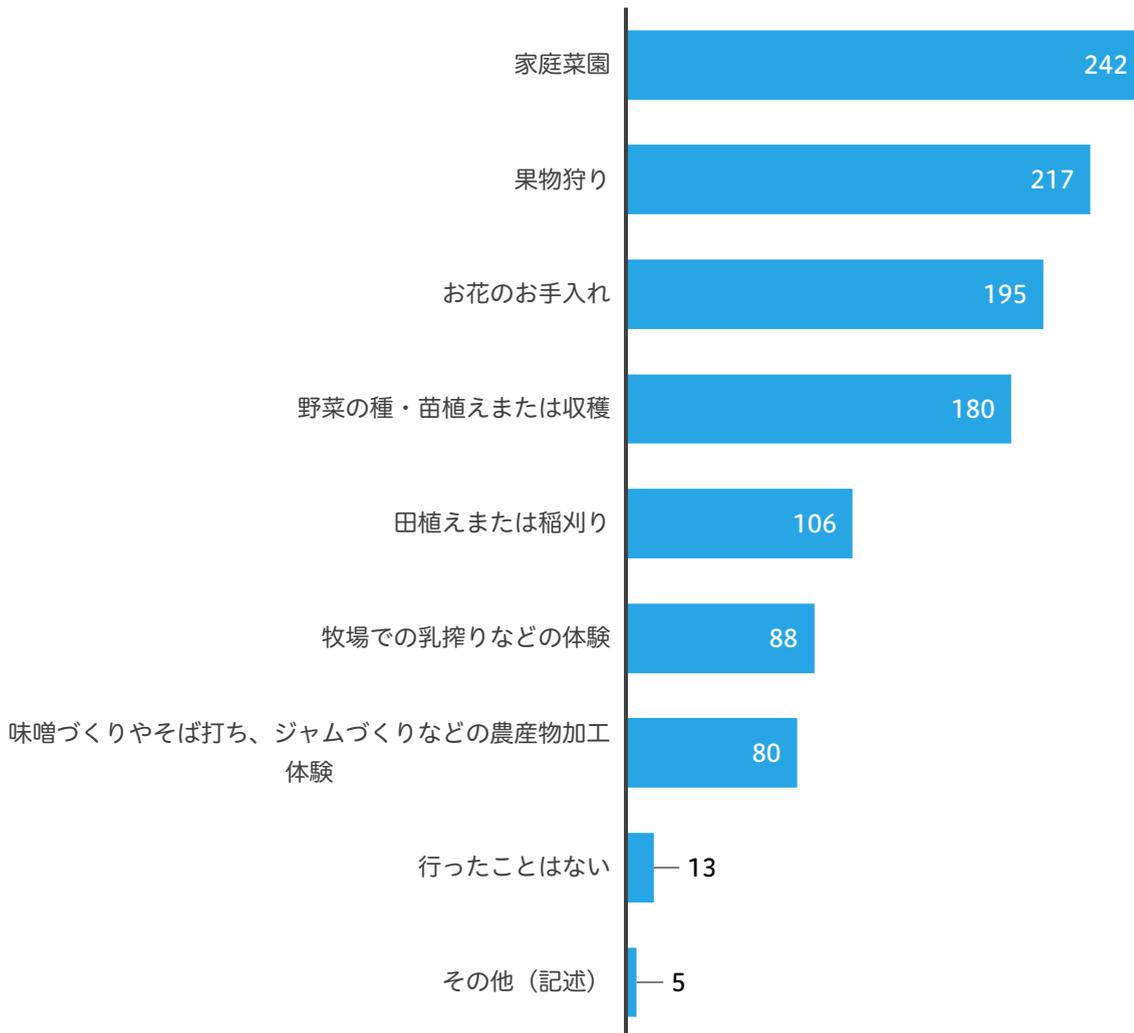
Q10.あなたが住んでいる地域で生産されている、主な農産物をいくつ知っていますか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「3個以上知っている」(35%)が最も多く、以下、「1個以上知っている」(34%)、「5個以上知っている」(24%)などと続いている。

Q11.学校以外で、農業についての体験をしたことがありますか。次のうち行ったことがあるものを選んでください。【いくつでも選んでください】



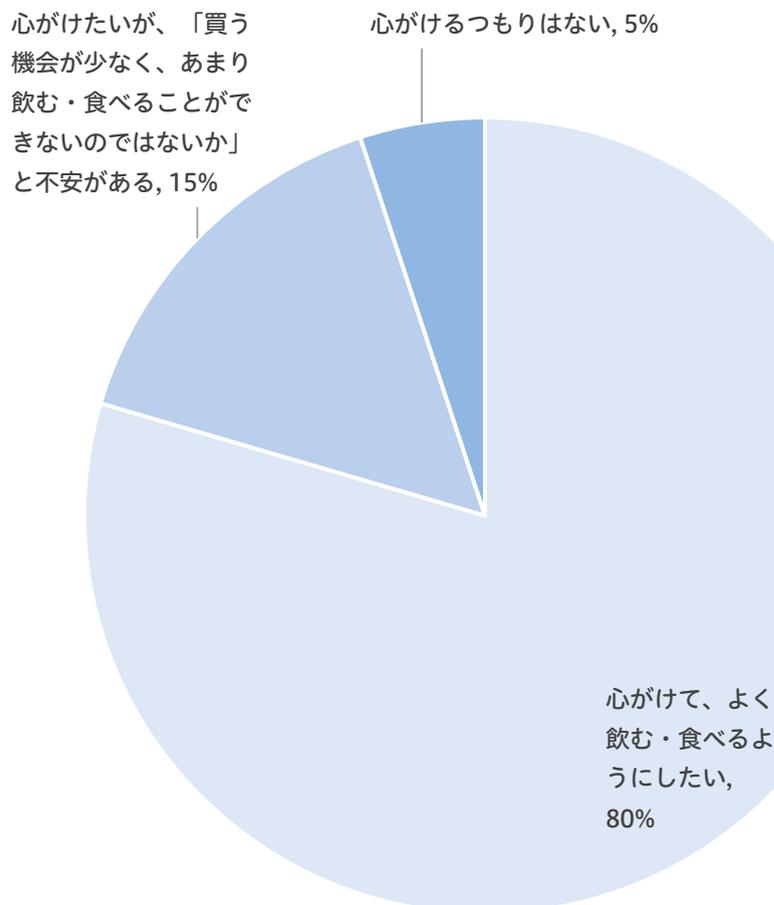
【調査結果の概要】

「家庭菜園」（242件）が最も多く、以下、「果物狩り」（217件）、「お花のお手入れ」（195件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ くさとりをしました。
- ・ ハウス内を片付ける直前のいちご屋さんに残っているいちごを収穫に行った。ハウス内は暑いし屈みながらの収穫は大変なんだなと思った。
- ・ 麦刈・麦の種蒔・麦踏みなど
- ・ お芋ほり
- ・ 無農薬でお米と大豆を栽培して、それで味噌作りを毎年しています。

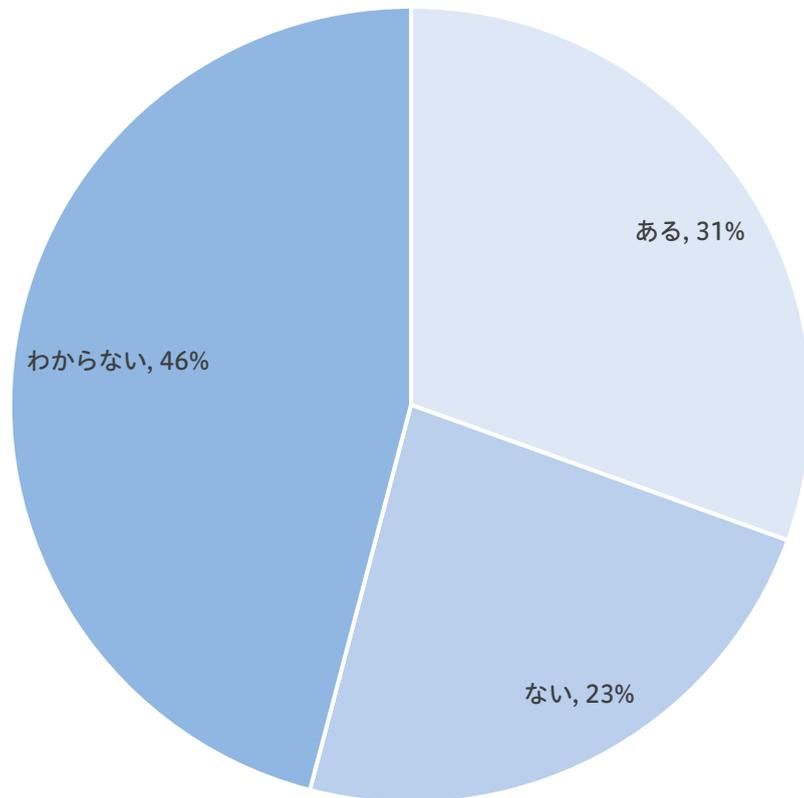
Q12.「日本人は、特に義務教育（小・中学校）を終えた年代から、カルシウムをとる量が足りていない」という調査結果があります。牛乳・乳製品は、カルシウムを効率的にとることのできる食品ですが、あなたは義務教育を終えた後も、牛乳・乳製品を飲む・食べるように心がけたいですか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「心がけて、よく飲む・食べるようにしたい」（80%）が最も多く、「心がけたいが、「買う機会が少なく、あまり飲む・食べることができないのではないか」と不安がある」（15%）、となっており、95%ものひとが「心がけたい」としている。

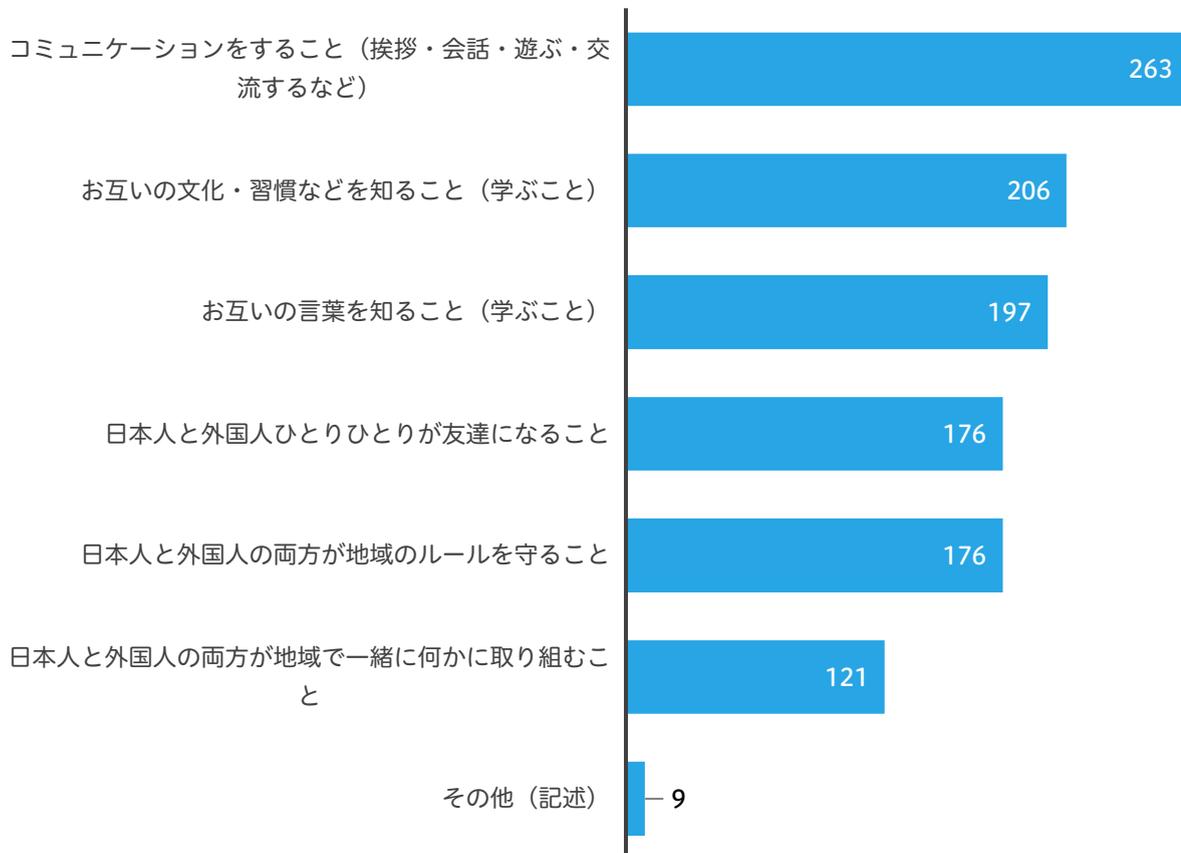
Q13.栃木県では、外国人住民が増えています。外国人住民を理解する上で（あなたが外国人の場合は日本人住民を理解する上で）、難しさを感じる（感じた）ことはありますか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「わからない」（46%）が最も多く、以下、「ある」（31%）、「ない」（23%）と続いている。

Q14.日本人住民と外国人住民が、同じ地域で仲良く・助け合って暮らすために、どのようなことが大切だと思いますか。【いくつでも選んでください】



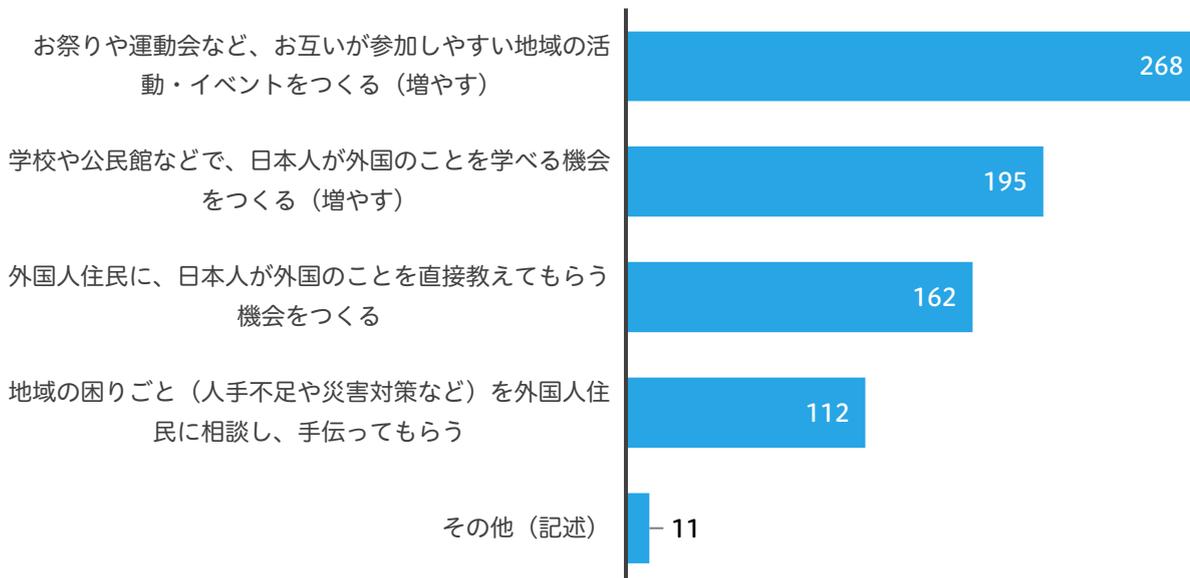
【調査結果の概要】

「コミュニケーションをすること（挨拶・会話・遊ぶ・交流するなど）」（263件）が最も多く、以下、「お互いの文化・習慣などを知ること（学ぶこと）」（206件）、「お互いの言葉を知ること（学ぶこと）」（197件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 外国人と、いっしょにご飯を食べること。
- ・ やさしくてしんせつでいることがたいせつだとおもいます。
- ・ 関わりを増やす、助け合ってくらす
- ・ イベントなどに参加すること
- ・ 公園で外国の子におもちゃを何も言わずに勝手に取られたので、基本的なルールは教えて欲しいです。
- ・ 外国人と日本人が協力して、遊ぶ計画をつくって、一緒に遊ぶこと。
- ・ 一緒にいたら仲良くなる
- ・ 差別しないでお互い協力すること。
- ・ 「郷に入っては郷に従え」、この言葉が全てだと思います。

Q15.日本人住民と外国人住民が、同じ地域で仲良く・助け合って暮らすために、具体的にどのようなことが効果があると思いますか。アイデアを教えてください。【いくつでも選んでください】



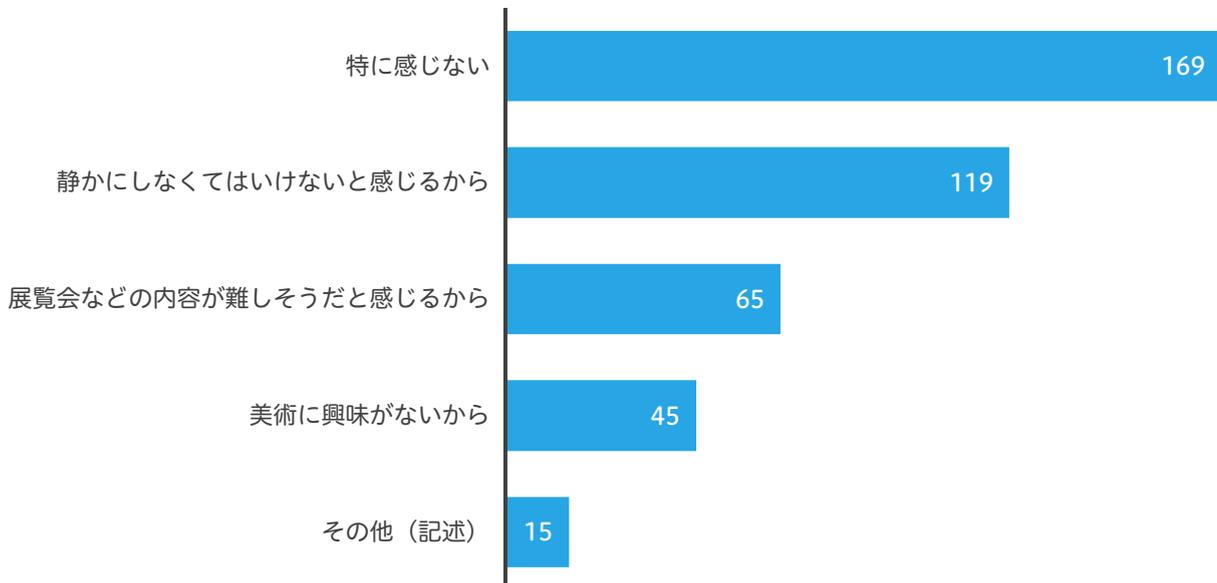
【調査結果の概要】

「お祭りや運動会など、お互いが参加しやすい地域の活動・イベントをつくる（増やす）」（268件）が最も多く、以下、「学校や公民館などで、日本人が外国のことを学べる機会をつくる（増やす）」（195件）、「外国人住民に、日本人が外国のことを直接教えてもらう機会をつくる」（162件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 外国人にも、日本の良いところをたくさんおしえる。
- ・ あまり関わりたくない
- ・ お互いの文化を知って、その文化を楽しむ機会をつくる。
- ・ 外国人に日本の文化などを知ってもらえるようにコミュニケーションをとれるようにする。
- ・ 特に思いつかない
- ・ ない
- ・ 日本の文化やマナーを知ってもらう場を設ける
- ・ 一緒に地域のことを勉強する。
- ・ 日本の文化を外国人にも理解してもらう
- ・ 外国人が日本人に合わせる意識を持ってほしい、ここは日本だから、外国人に合わせることはないのでは
- ・ 外国人の人が何か貸して欲しいものがある時に、気軽に借りれる場所をつくる。

Q16.美術館を訪れるときに、心理的なハードルを感じることはありますか。また、感じる場合、どのようなものがハードルとなりますか。【いくつでも選んでください】



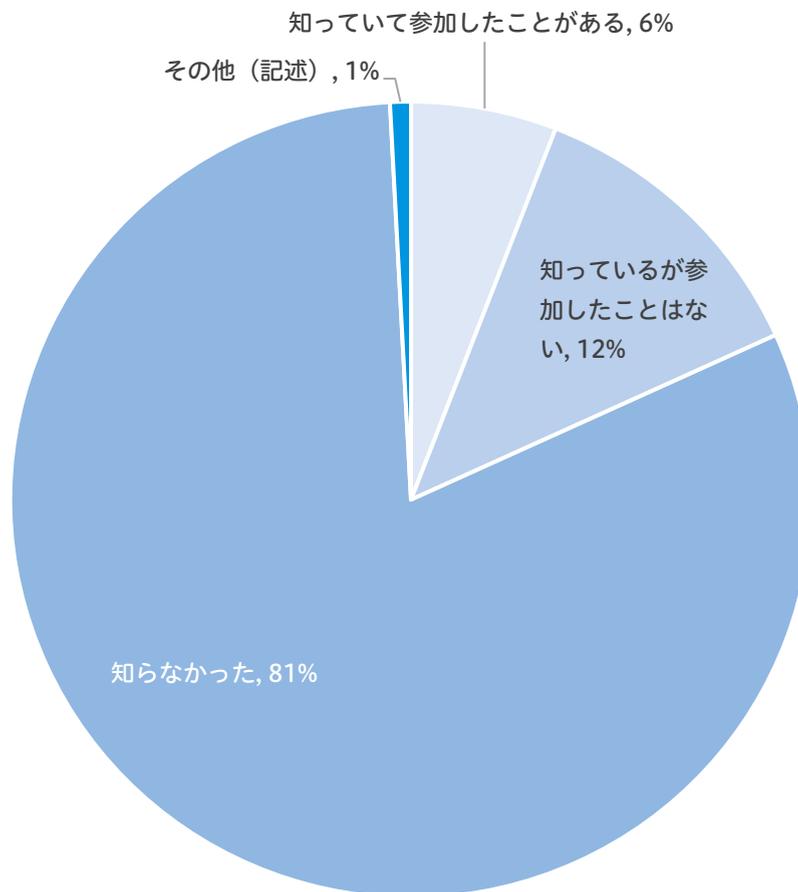
【調査結果の概要】

「特に感じない」（169件）が最も多く、以下、「静かにしなくてはいけないと感じるから」（119件）、「展覧会などの内容が難しそうだと感じるから」（65件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- きれいな物ばかりだから。
- 雰囲気怖いから
- いろいろな人が集中しているので、居づらい。
- 美術館がどこにあるか分からない
- 部屋で遊んで、ゴロゴロしていたいから。
- ということか分からない
- 怖い気がする
- 美術館に行ったことがないです
- 何かを壊さないか心配だと感じるから
- 子供から大人までみんなが楽しめる上野にあるような美術館がいいです
- 美術館に行ったことがなく、まだわからないみたいです。
- いったことない
- 初めて行く所はハードルを感じますが、何回か行ったことがある所は、どこに何があるか把握しているのでそこまで感じないです。
- 美術館は、入るのに高く、お金がないと、美に触れられない
- 行った時がない

Q17.栃木県立美術館で、楽しく制作活動を行うことのできるワークショップ「アトラウンジさくら塾」や、美術館の作品をみんなで鑑賞する様々なイベントなど、様々な世代が参加できるイベントを開催していることを知っていましたか。【ひとつだけ選んでください】



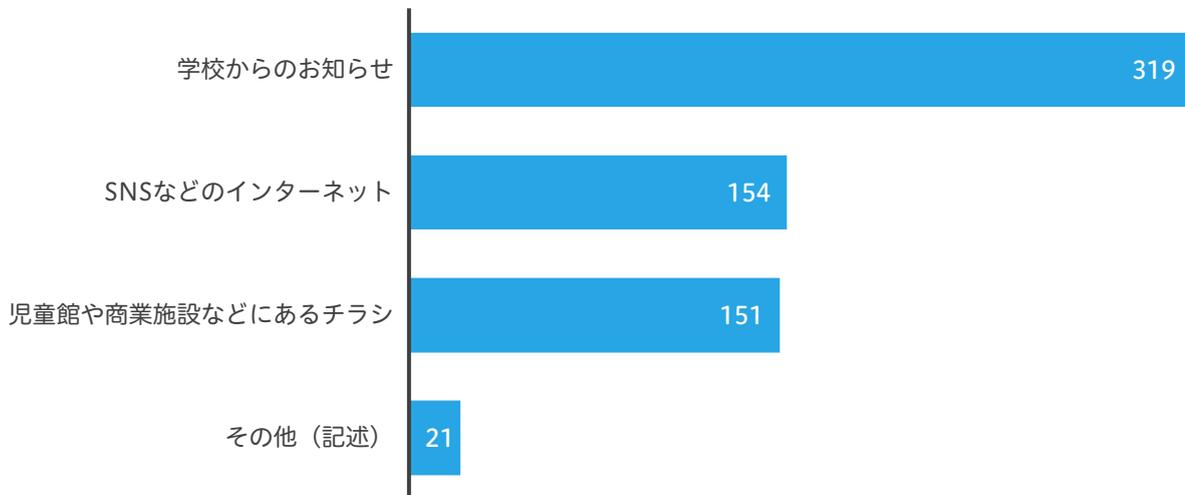
【調査結果の概要】

「知らなかった」(81%)が最も多く、以下、「知っているが参加したことはない」(12%)、「知っていて参加したことがある」(6%)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 佐野だから知りません
- ・ 栃木県美術館があることを知らなかった。

Q18.参加するイベントなどの情報収集は、どのような媒体で行っていますか。【いくつでも選んでください】



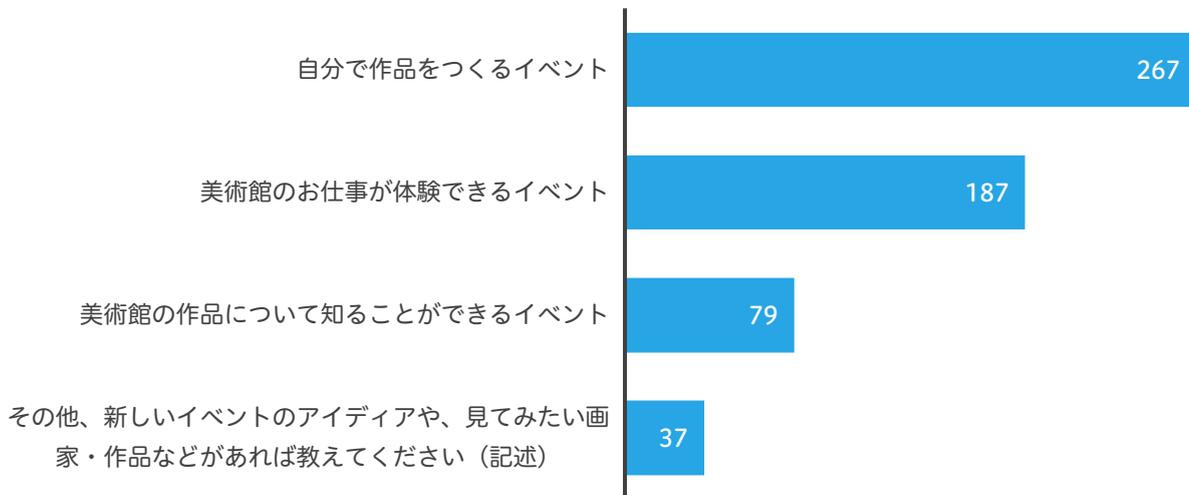
【調査結果の概要】

「学校からのお知らせ」(319件)が最も多く、以下、「SNSなどのインターネット」(154件)、「児童館や商業施設などにあるチラシ」(151件)などと続いている。

【その他の自由記述】

- ない
- 出かけたときにチラシを見たりした。
- 市の会報紙
- 新聞、広報うつのみや
- 知り合いから
- 下野新聞
- 広報誌
- 姉妹の通う保育園からのチラシ
- 広報うつのみや
- 佐野市のLINE
- 知人からの口コミ
- ニュース
- おかあさん、おとうさんから など保護者 8件

Q19.今後、栃木県立美術館で開催してほしいイベントや企画展などをお聞かせください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

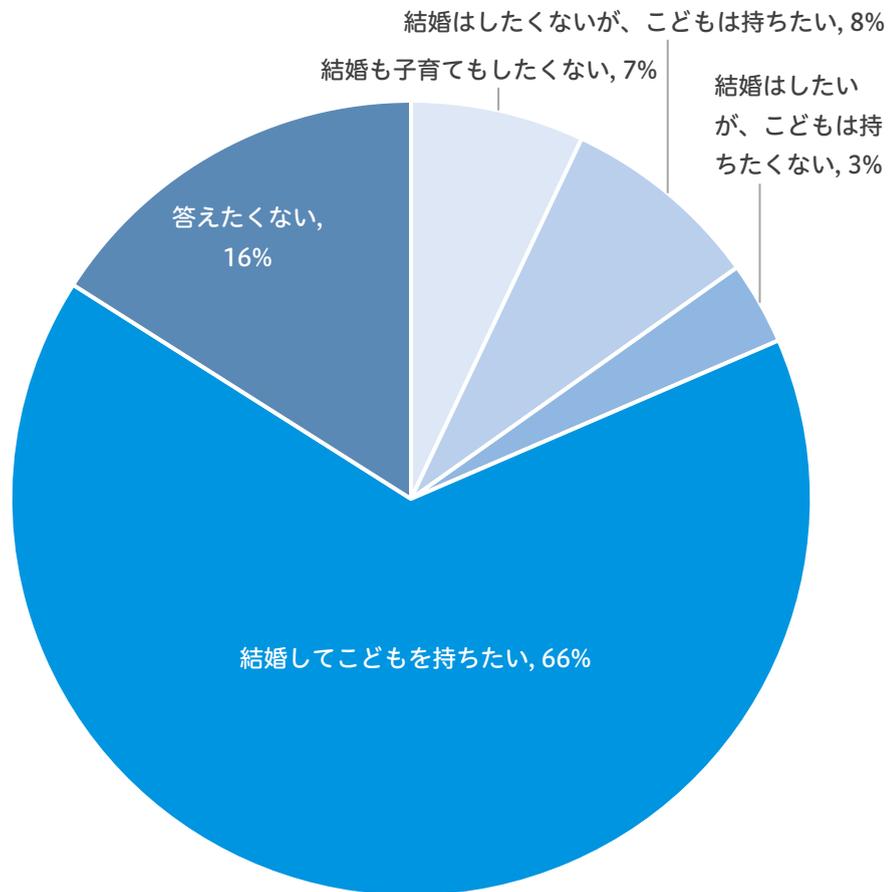
「自分で作品をつくるイベント」（267件）が最も多く、以下、「美術館のお仕事が体験できるイベント」（187件）、「美術館の作品について知ることができるイベント」（79件）などと続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 絵本作家 ツペラツペラ
- ・ スズキノリタケさんの特別展がみたいです。ヨシタケシンスケさんの特別展がすごく楽しかったからです。
- ・ 俵屋宗達の風神雷神図が見たい。葛飾北斎の神奈川沖浪裏もみたい。
- ・ 作品をさわることができるイベント。
- ・ 村上隆、三浦大地
- ・ 行けなかったが、ヨシタケシンスケが見たかった。
- ・ みんなで1つのものをかんせいさせる
- ・ 草間彌生、カウズ、現代美術
- ・ 絵の描き方を教えてほしい
- ・ 絵本や漫画 アニメの美術の展示
- ・ 美術館の歴史を知るイベント
- ・ 田代大輔
- ・ 絵を描く体験
- ・ 大谷石など地元の材料で作った作品展
- ・ さかなクン
- ・ デジタルアート体験できる作品
- ・ 五味太郎、キャビンカンパニー
- ・ 有名なゴッホの作品が見たいです。
- ・ 参加した人たちで何か1つの作品を作るイベント
- ・ 名探偵コナンに出てくる画家の作品をみたい
- ・ ヨシタケシンスケさんなど、有名な絵本作家さんのイベントをやってほしい。
- ・ 栃木に住んでいる先生と一緒に作れるお教室をやってほしい。
- ・ 葛飾北斎、ゴッホ、モネなど有名な方がいいです
- ・ 図工や美術にあまり興味がない

- おもちゃで作る作品展
- 実物にふれることができるイベント
- このままでいい
- 柴田ケイコさんの展示会があったら、必ず行きます。
- 絵が上手になるイベント
- ヨシタケシンスケ展のような体験型アートをもっと増やしてほしいです
- 例えば、『逃走中』のようなゲームを美術館内で行い、作品の収集をミッションに加えて、知識や美術館のことを楽しく知ってもらおう。
- 特にない など 3件

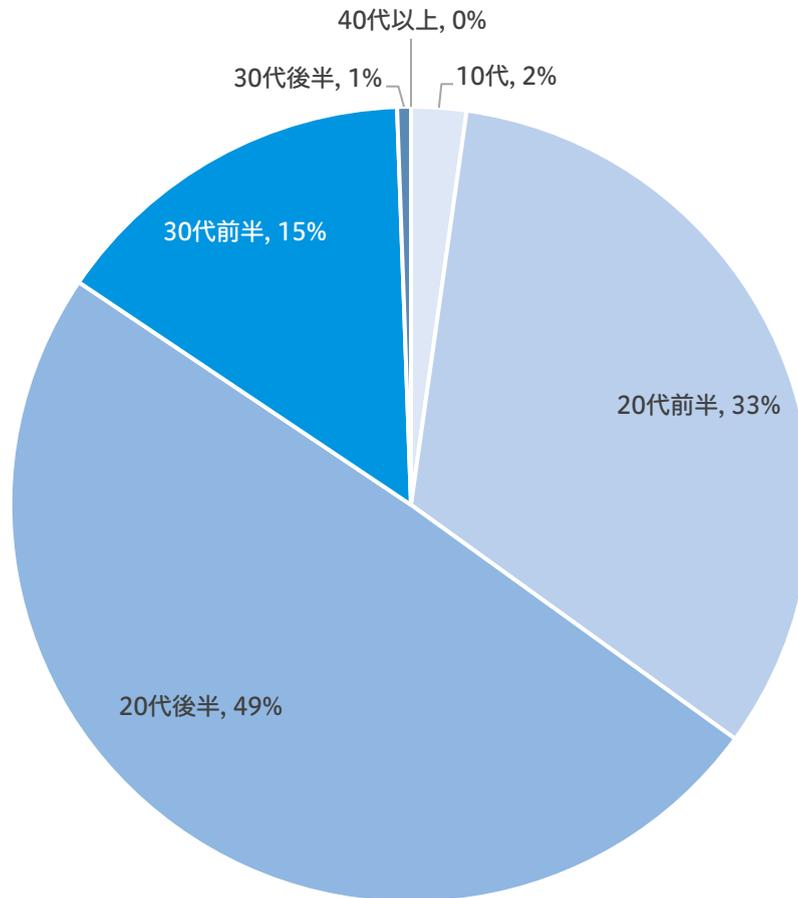
Q20.結婚や子育てに関しては、さまざまな価値観や考え方があります。次のうち、あなたの考えに一番近いものはどれですか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「結婚して子どもを持ちたい」(66%)が最も多く、以下、「答えたくない」(16%)、「結婚はしたくないが、子どもは持ちたい」(8%)などと続いている。

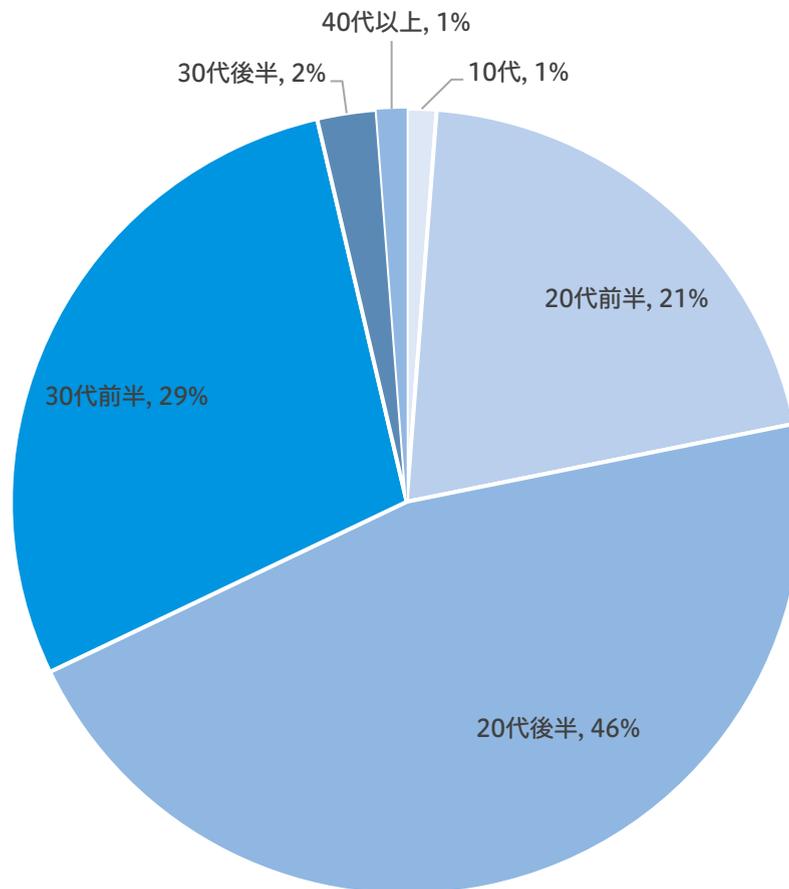
Q21. 「Q20」で「結婚はしたいが、こどもは持ちたくない」「結婚してこどもを持ちたい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、何歳頃に結婚したいと考えていますか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「20代後半」(49%)が最も多く、以下、「20代前半」(33%)、「30代前半」(15%)などと続いている。

Q22. 「Q20」で「結婚はしたくないが、こどもは持ちたい」「結婚してこどもを持ちたい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、何歳頃にこどもを持ちたいと考えていますか。【ひとつだけ選んでください】



【調査結果の概要】

「20代後半」(46%)が最も多く、以下、「30代前半」(29%)、「20代前半」(21%)など続いている。